

# 中村元 慈しみの心

山陰中央新報（総合）

## 中村元 慈しみの心

No.584

すべての生類には、ことごとくに  
仏性がある。 （『大般涅槃經』）  
〈解説〉人には仏になる可能性が  
あるので、だれでも諸仏の教えにし  
たがって歩めば、釈迦のようになら  
ず仏になれると仏典は説いた。注  
意すべきは、生類は生来、善人とは  
説いていない。才能や素質があつて  
も、花を育てるように、伸ばし育て  
る努力をしなければ、己のものにな  
らない。努力するうちに自ずから可  
能性が花開くという。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.6.23 中村元記念館協力

## 中村元 慈しみの心

No.583

口先に説くだけで実行しなければ道  
を体得できない。 （慈雲飲光）  
〈解説〉料理本で学んだ知識だけ  
では、料理の具材の切り方や調味が  
分からない上、料理の仕方を教えよ  
うとしても難しい。登山の未経験の  
人は登山の経路や道標や高さなどの  
知識はあつても、気象の変化や山頂  
からの景色を教えることはできな  
い。「口では大阪の城も建つ」が、  
口を使って城を建てた人はいない。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.6.2 中村元記念館協力

## 中村元 慈しみの心

No.586

道は、知るとか知らないとかいうこ  
とに関係しない。知るのは妄想であり、  
知らないというのは答えにはならな  
い。 （『無門関』）  
〈解説〉「道」には道理、人の道、  
さとりなどの意味がある。これを頭  
で理解しても、それは知識であり、  
体験がないので妄想にすぎない。ま  
た、知らぬ存ぜぬ、分からぬといっ  
て、道を見ても、知る努力をし  
ないだけで自慢にはならない。道は  
からだかうずきのように感じ取るも  
のである。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.6.26 中村元記念館協力

## 中村元 慈しみの心

No.585

我が身が愚鈍であるからと言って、  
卑下してはならない。 （道元）  
〈解説〉判断力や理解力が鈍い人  
を愚か者とののしり、さらに人間性  
も劣っていると考える人がいる。愚  
かだから性格や素質も愚かとは言  
えない。愚かさは学ば直る。みなす  
ぐれた人間性を備えていると釈迦は  
説いた。だれでも理想的人間になる  
素質（仏性）を備えているからだ。  
人は生来愚鈍ではないと認識すべ  
きである。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.6.24 中村元記念館協力

# 中村元 慈しみの心

山陰中央新報（総合）

## 中村元 慈しみの心

No.588

（真言の）一字一字に千理を含むがゆえに、これを誦えれば、この身のままで諸法実相をさとする。（空海）

△解説▽諸仏の言葉（真言）の一字一字は、修行の結果、紡ぎだされた言葉である。それは真実の教えが織り込まれており、これを声に出し、ひたすら唱えれば、言葉が声となり、言葉が身に染み、諸仏の教えがこの身に満ちる。そして唱える声が万象にこだまし、万象と己が一つになるのを感じるという。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.6.27 中村元記念館協力

## 中村元 慈しみの心

No.587

善悪の世界はみな浄土である。浄土を我々の心の外に求めてはならない。この穢土を嫌ってはいけない。（一遍）

△解説▽浄土（安樂の処）と穢土（苦難の処）とは、実は己が演出した身心の姿である。浄土は己のあるべき姿である。彼岸と此岸の区別は間に流れる水が濁れるとなくなる。もと陸続きだから、浄土も穢土も煩惱によって分けられ、煩惱がなくなるとその区別はない。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.6.26 中村元記念館協力

## 中村元 慈しみの心

No.590

衆生は仏に異ならず、仏は即ちこれ衆生なり。（王安石）

△解説▽衆生は狭義では生物一般、また人間であるが、ここでは原意の「存在するもの」と理解される。つまり世のすべてのものには仏が宿っていると説いている。日月、星、山川、大海のはたらきは仏のはたらきと信じた。自然界の現実の動きは仏の姿と見た。自然のやさしい姿、きびしい姿、怒った姿も仏と見る。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.6.29 中村元記念館協力

## 中村元 慈しみの心

No.589

衆生、本来仏なり。水と氷のごとくにて、水をはなれて氷なく、衆生の外に仏なし。衆生、近きを知らずして、遠く求むるはかなさよ。（白隠）

△解説▽氷は固く冷たい。角があり、刃となる。凡人をいう。水は柔らかく、まろやか。仏をいう。水は熱すると蒸気に、冷やすと氷になる。つまり仏も煩惱を起せば、凡人となり、煩惱をなくせば、凡人も仏に戻れる。

田上太秀・駒澤大名誉教授

2017.6.28 中村元記念館協力